令和７年度　信学会どんぐりの森こども園

「自己評価および学校〔園〕関係者評価」

１．園の教育目標　　元気いっぱい　笑顔いっぱいの　おひさまになろう

① 明るいあいさつ　ニコニコ笑顔のおひさまっ子

② たくさん遊んで　まっかなおひさまっ子（園庭や戸外で、思いきり遊んだり自然に親しんだりできる子）

③ 話の聞く力の高い　心豊かな　　かしこいおひさまっ子

④ 友だちの中で育つ　やさしく　　たのもしいおひさまっ子

２．本年度の重点目標大　　事にしたい三つの大切

① 子どもの「やりたい」「やってみたい」を大切に

② 「自由遊び」や「戸外活動」を大切に

③ 「絵本」を大切に

３．自己評価

A…十分達成されている　　B…達成されている

C…取り組んでいるが、成果が十分でない　D…取り組みが不十分である

項目	自己評価内容	評価
教育課程・指導	・園は目指している教育目標、本年度の重点目標を周知している。	B
	・教育課程実施において、教職員は共通理解をしている。	B
保健管理	・日常の健康観察や、疾病予防のための取り組みや健康診断などを行っている。	A
安全管理	・事故やケガ等発生時の危機管理マニュアルが整備されている。	B
組織運営	・園長は教育目標の達成に向けリーダーシップを発揮し、職員をリードしている。	B
	・園運営が適切に機能するために、運営・責任体制の整備を行っている。	B
研修（資質向上への取組）	・法人実施の研修会への参加と、園内研修会の実施をしている。	A
	・日々の保育の振り返りと課題を明確にしている。	B
教育目標・園評価	・幼児の実態、保護者の意見要望などを踏まえた園目標を設定している。	A
	・保護者アンケートの実施と、学校関係者委員会（モニター会）を設置している。	B
	・本年度の重点目標達成のための取り組みをしている。	A
情報提供	・園公開を実施し、園の取り組みを広く情報提供している。	B
	・園の情報を広く公開するために、ホームページ等を活用している。	C
保護者・地域住民との連携	・PTA や学校関係者委員会（モニター会）等で定期的に懇談会を実施している。	A
子育て支援・預かり保育	・地域における保護者の実情や、子育て支援ニーズを把握している。	B
	・保護者の実情や要望を取り入れ、預かり保育・希望保育事業を実施している。	A
教育整備環境	・子どもの成長に則した教育環境になるよう工夫を重ねている。	B

４．学校関係者評価委員(モニター)からの評価

・保護者の話や、アンケートより、子どもの成長を通して保護者に園の様子が伝わっていると感じられる。

・外部の方との交流や、地域の方にお手伝いに入っていただける機会が多くあり、子どもたちにとって、良い経験ができた。また、地域の方に園に入っていただくことで、園の様子を知っていただける良い機会となっている。

・子どもたちの姿を見て、園が大事にしている３つの大切が育っている。時代は変わってきている。多様な考え方があるが、自信をもって、保育を続けていってほしい。

５．今年度の総合的な園評価と次年度への課題

・外部の方との交流や、地域の方にお手伝いに入っていただける機会が多くあり、子どもたちにとって、良い経験ができた。また、地域の方に園に入っていただくことで、園の様子を知っていただける良い機会となっている。また、定期的に行っている園庭開放では、昨年度よりも遊びに来てくれる未就園児が増えた。

・園で継続して行ってきている３つの大切は、成果が見えてきているように感じる。子どもたちにとってどんな保育が良いのか考えながら保育をしてきたが、いまだに保護者の「以前に戻してほしい」と言う声も聞くため、来年度も引き続き、子どもにとってなにが１番なのか、保育の在り方について考え、保護者の方に理解していただけるよう、情報発信を行っていきたい。